



# 北海道発！最新の農業技術

## ～道内の産学官から最新の技術シーズを一挙に紹介～



アグリ技術シーズセミナーは、農林水産・食品分野で、新たな産学官連携を推進するため、最新の研究情報の発信を行うセミナーです。全国各地のキラリと光る最新の技術シーズを集め、一挙に御紹介します。

第2回セミナーでは、**北海道の産学官の研究機関から、最新の技術シーズを御紹介します。**

なお、セミナー当日は、基調講演において超強力小麦品種「ゆめちから」における産業の連携と発展方向について御紹介し、セミナー終了後には、講師やコーディネーターとの個別相談会を開催します。

参加費は無料です。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時： 平成26年12月12日（金）13：30～17：30

会場： TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター バンケットホール8C  
（東京都中央区京橋1-7-1 戸田ビルディング8階）

参加費： 無料（個別相談会も無料）

※配布資料の準備の都合上、参加希望の方は12月9日（火）までに事務局までお申し込み下さい。  
なお、会場に余裕がある場合に限り、当日連絡なしでのご入場も可能です。

主催： （公社）農林水産・食品産業技術振興協会、農林水産省

共催： NPO法人グリーンテクノバンク（札幌市）

### プログラム

**【挨拶】** （公社）農林水産・食品産業技術振興協会 13:30～13:35

### 【基調講演】

「超強力小麦品種『ゆめちから』における産業の連携と発展方向」 13:35～14:15

田引 正 氏（（独）農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター 研究調整役）

### 【シーズ紹介】

1)「褐藻色素フコキサンチンの機能性と有効利用」 14:15～14:45

宮下 和夫 氏（北海道大学大学院水産科学研究院 教授）

2)「海藻ダルの食品科学的機能性と新食材としての利用提案」 14:45～15:15

木下 康宣 氏（（公財）函館地域産業振興財団 研究開発部 食産業技術支援グループ 研究主査）

3)「高機能性タマネギ新品種の特徴と利用法」 15:25～15:55

岡本 大作 氏（（有）植物育種研究所 代表取締役）

4)「きのこを活用したGABA富化素材」 15:55～16:25

原田 陽 氏（（地独）北海道立総合研究機構 森林研究本部 林産試験場 利用部 微生物グループ 研究主査）

5)「加工歩留まりが高い業務加工用タマネギ、カボチャの新品種」 16:25～16:55

杉山 慶太 氏（（独）農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター 水田作研究領域 上席研究員）

※基調講演、シーズ紹介の概要は裏面をご覧ください。

### 【個別相談会】

16:55～17:30

共同研究形成等に向けた連携相談、技術相談に講師やコーディネーターが対応致します。

（セミナーにおいて紹介する技術シーズに関するご相談以外にも、農林水産・食品分野の研究に関するご相談全般に対応致します）

## 【基調講演の概要】

### 「超強力小麦品種『ゆめちから』における産業の連携と発展方向」

田引 正 氏 ((独)農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター 研究調整役)

#### (講演内容)

小麦の自給率は14%程度と低いが、中でもパン・中華麺に使われる強力系小麦の自給率は極めて低い。自給率向上を目指し、従来の強力小麦よりもさらにグルテンの力が強く、国内産小麦の主な用途である日本麺用粉とブレンドすることによってパン・中華麺に利用できる、超強力小麦「ゆめちから」が開発された。以前より一部の消費者からはパン・中華麺に利用できる国内産小麦へ高い関心はあったが、十分な供給ができない状態であった。「ゆめちから」は今後北海道を中心に6万tが生産される予定であり、すでに使用したパン・中華麺等が市販されているが、今後さらに食品メーカーの利用拡大を図っていただきたい。

## 【シーズ紹介の概要】

### ①「褐藻色素フコキサンチンの機能性と有効利用」

宮下 和夫 氏 (北海道大学大学院水産科学研究院)

#### (発表内容)

褐藻に特異的に含まれるカロテノイド色素、フコキサンチンの独特な分子機構に基づく抗肥満作用について解明した。また、フコキサンチンを多く含む褐藻油と海藻粉末の活用方法について発表する。

#### (マッチングの方向性)

- ◆ 共同研究相手を見つけたい
- ◆ シーズを製品化する相手を見つけたい

#### (マッチングを想定する対象)

- ◆ 製造業 (食品製造業等)
- ◆ 農林漁業関係者

### ②「海藻ダルスの食品科学的機能性と新食材としての利用提案」

木下 康宣 氏 ((公財)函館地域産業振興財団)

#### (発表内容)

コンブの養殖ローブに繁茂する海藻にダルスがある。これは紅藻に分類され、通常紅紫色をしているが、特定加熱で緑色化させると、120℃で処理しても退色しないことを見出した。この知見を活かした利用方法を提案する。

#### (マッチングの方向性)

- ◆ 共同研究相手を見つけたい
- ◆ シーズを製品化する相手を見つけたい
- ◆ 研究のための資金提供元を見つけたい

#### (マッチングを想定する対象)

- ◆ 共同研究機関
- ◆ 製造業 (食品製造業)

### ③「高機能性タマネギ新品種の特徴と利用法」

岡本 大作 氏 ((有)植物育種研究所)

#### (発表内容)

機能性成分「ケルセチン」を高含有するタマネギを開発するにあたり、交配育種、成分分析、細胞試験、動物試験、ヒト介入試験について解説するとともに地域ブランド化の取り組みを紹介する。

#### (マッチングの方向性)

- ◆ 共同研究相手を見つけたい
- ◆ シーズを製品化する相手を見つけたい
- ◆ 研究のための資金提供元を見つけたい

#### (マッチングを想定する対象)

- ◆ 共同研究機関
- ◆ 製造業 (食品製造業)

### ④「きのこを活用したGABA富化素材」

原田 陽 氏 ((地独)北海道立総合研究機構 森林研究本部 林産試験場)

#### (発表内容)

エノキタケやシイタケを原料として、機能性成分のGABAを富化した各種素材(エキス、ペースト、パウダー、ホールきのこ)を製造する技術を紹介する。素材の形状に応じた製造プロセスの効率化が可能であり、健康志向の食品素材としての活用が期待される。

#### (マッチングの方向性)

- ◆ シーズを製品化する相手を見つけたい
- ◆ 技術移転先を見つけたい

#### (マッチングを想定する対象)

- ◆ 製造業 (食品素材、加工食品、健康食品)
- ◆ 農林漁業関係者
- ◆ 商社

### ⑤「加工歩留まりが高い業務加工用タマネギ、カボチャの新品種」

杉山 慶太 氏 ((独)農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター)

#### (発表内容)

加工用タマネギ品種「カロエワン」の生育特性、球の形質、収量性及び加工適性について発表を行う。また、加工用カボチャ品種「くりひかり」の生育特性、果実の形質、収量性及び加工適性について発表する。

#### (マッチングの方向性)

- ◆ シーズを製品化する相手を見つけたい

#### (マッチングを想定する対象)

- ◆ 製造業 (食品加工業)

### ◆事業化を加速する産学連携支援事業とは？

農林水産省が、農林水産・食品分野において産学連携による研究、事業化を活性化するため実施している事業です。全国に農林水産・食品分野の高度な専門知識を有する「コーディネーター」を配置し、研究計画の作成等、様々な支援を行っています。事業の概要や相談窓口は、ホームページ「<http://agri-renkei.jp/>」をご覧ください。

#### 【事務局】(公社)農林水産・食品産業技術振興協会

産学連携事業部 川畑・酒井・佐藤  
〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル7階  
TEL:03-3586-8644, FAX:03-3586-8277,  
E-mail:renkei-seminar@jataff.jp

平成 26 年度 事業化を加速する産学連携支援事業 第 2 回アグリ技術シーズセミナー  
 北海道発！最新の農業技術 ～道内の産学官から最新の技術シーズを一挙に紹介～(12/12 開催)  
 会場「TKP 東京駅八重洲カンファレンスセンター」案内図



住 所： 東京都中央区京橋 1-7-1 戸田ビルディング 8 階  
 T E L： 0 3 - 4 5 7 7 - 9 2 6 4  
 交 通： JR「東京駅」八重洲中央口 徒歩 5 分、  
 東京メトロ銀座線「京橋駅」7 番出口 徒歩 1 分  
 都営浅草線「宝町駅」徒歩 6 分

平成 26 年度 事業化を加速する産学連携支援事業 第 2 回アグリ技術シーズセミナー  
 北海道発！最新の農業技術 ～道内の産学官から最新の技術シーズを一挙に紹介～(12/12 開催)

参加申込書

宛先：(公社) 農林水産・食品産業技術振興協会 産学連携事業部  
 E-mail：renkei-seminar@jataff.jp 又は FAX：03-3586-8277  
 (E-mail の場合、必要事項をテキスト入力頂ければ結構です。)

氏 名： \_\_\_\_\_

勤務先： \_\_\_\_\_

部署・役職： \_\_\_\_\_

住 所：〒 \_\_\_\_\_

T E L： \_\_\_\_\_ F A X： \_\_\_\_\_

E-Mail： \_\_\_\_\_

個別相談会希望： \_\_\_\_\_ ( ) (希望される方は○印をご記入下さい)

個別相談内容 (個別相談会へ参加を希望される方は簡潔かつできるだけ具体的にご記入下さい)：

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

※申込書の取り扱いには本セミナー実施に係る業務にのみ限定し、目的以外には使用致しません。